

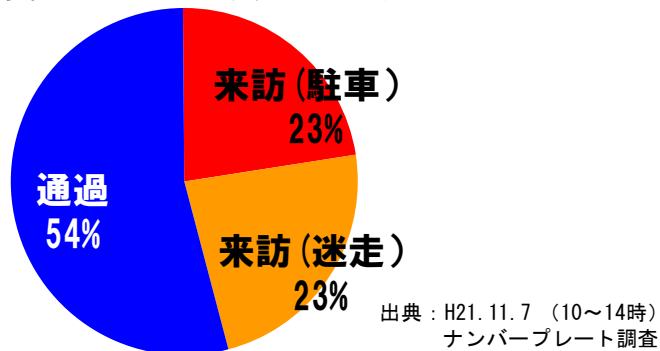
7. 奈良公園全体の現状と課題

「移動・周遊環境」に関すること①

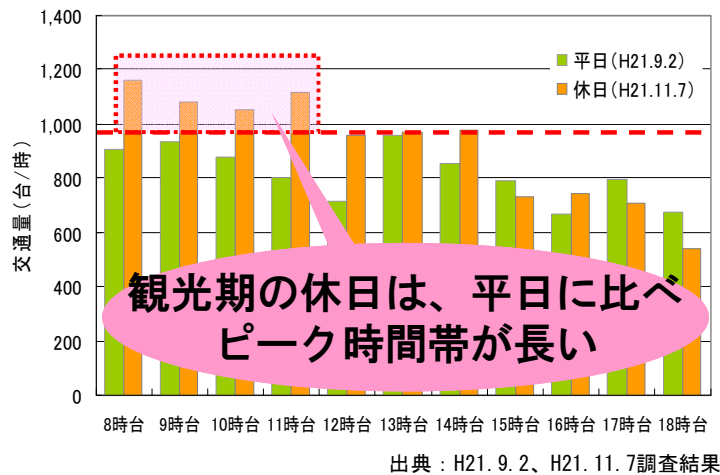
《奈良公園内の交通の現状》

- ・奈良公園へ流入する5割以上が地域の生活車両を含めた通過交通であり、2割以上が公園周辺を迷走している。
- ・観光バスが駐車場待ちのため公園内道路まで溢れ、渋滞を引き起こしている。

■奈良公園への流入交通の内訳



■高天交差点から公園方面への時間帯別交通量



観光期の休日は、平日に比べピーク時間帯が長い

■渋滞状況

観光バスの来訪状況

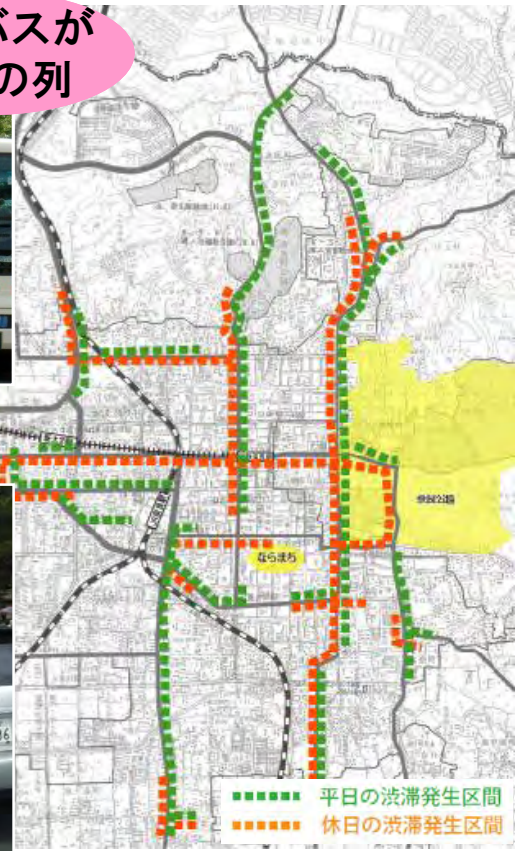


観光バスが長蛇の列

公園内の景観現況



公園内で渋滞が発生



出典：平日H21.10.9、休日H21.10.11渋滞状況 JARTICデータ

《課題》 奈良公園への生活車両を含めた通過交通の流入抑制や、自動車、団体バスなどへの効率的な案内誘導が課題

7. 奈良公園全体の現状と課題

「移動・周遊環境」に関すること②

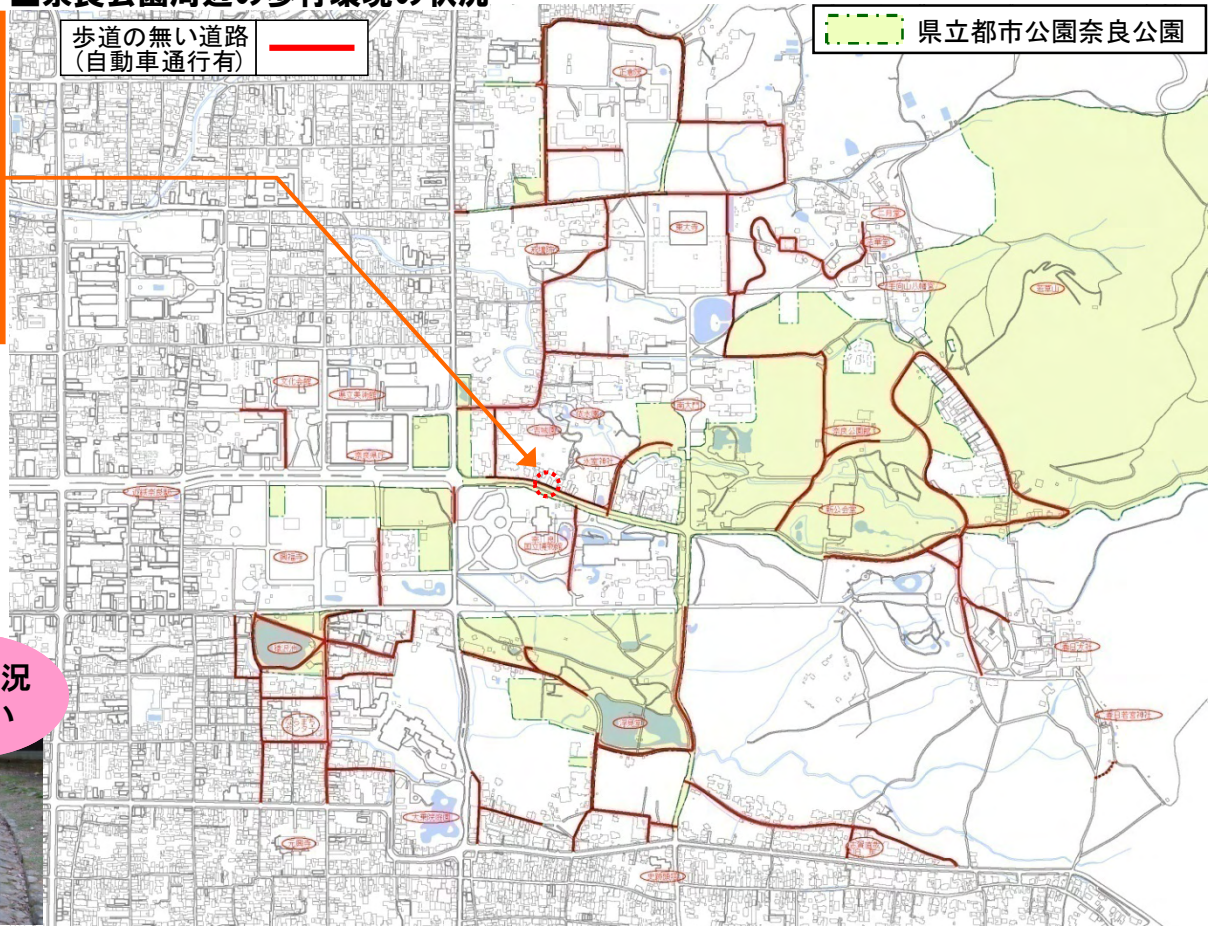
《奈良公園内の歩行環境の現状》

- ・自動車の交通量も多く、また、歩道もない危険な状況がみられるほか、園路や公園施設の老朽化や荒廃などが進んでいる。

■歩行環境



■奈良公園周辺の歩行環境の状況



■園路や公園施設の状況



園地の荒廃
未舗装



路面状況
が悪い



《課題》

歩行者等が安心して移動や周遊ができる環境整備が課題

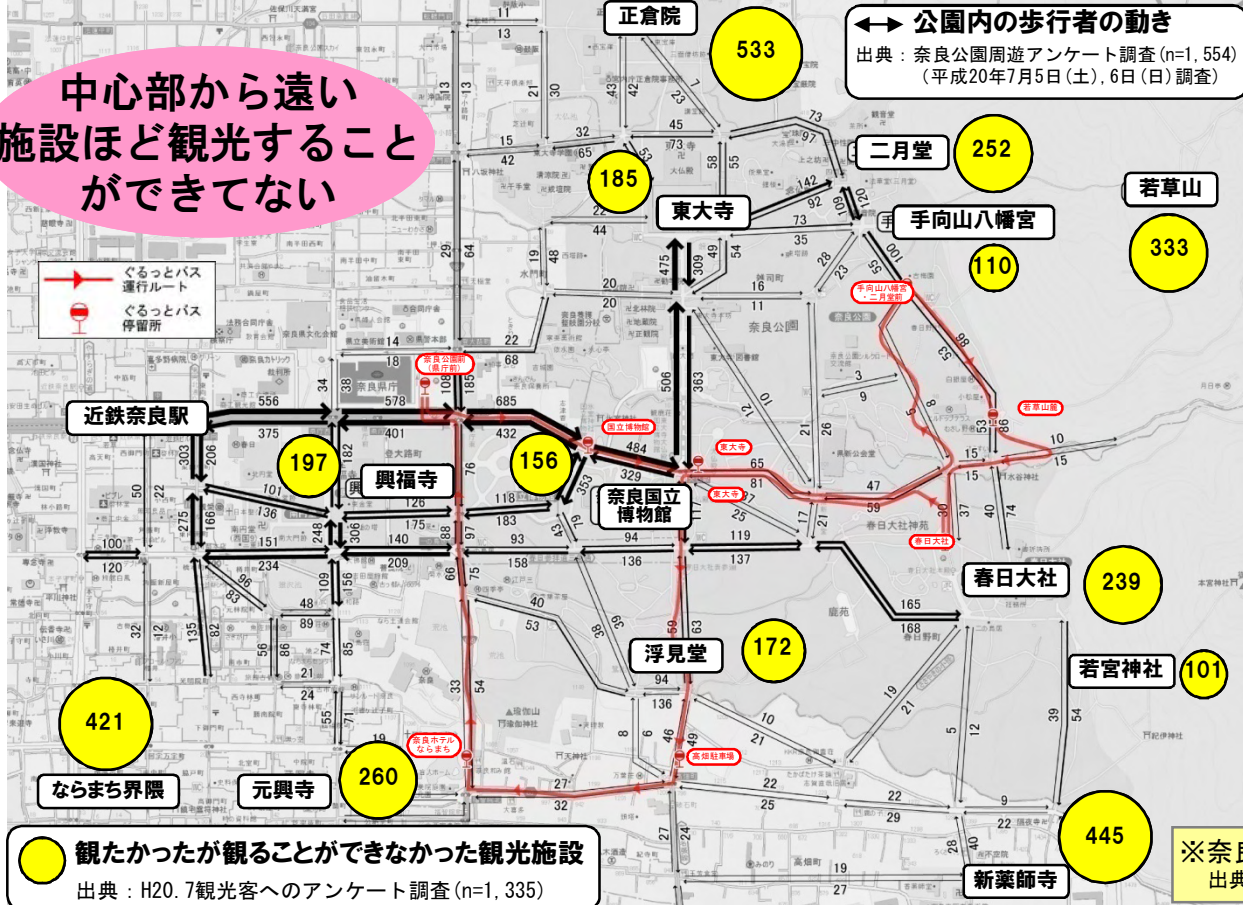
7. 奈良公園全体の現状と課題

「移動・周遊環境」に関すること③

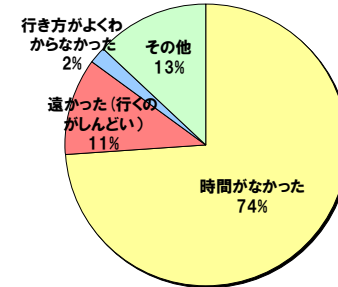
《奈良公園内の移動手段の現状》

- ・ 観光客の多くが観光したい施設を十分に観光することができていない。
- ・ 現在公園内を「ぐるっとバス」が期間限定で運行している。

■公園内の歩行者の動きと観ることができなかった観光施設



【立ち寄りなかった理由】



■奈良公園ぐるっとバス (H23春)

奈良公園ぐるっとバス

100円/大人(小学生以下無料) 9時~17時 約15分周回で運行します

【周遊バスの運行期間】
4/29(金)~5/9(日)の毎日、
5/14(土)~5/29(日)の土日

春・秋の観光シーズンに
期間限定で運行
(社会実験の一環として実施)



※奈良公園周辺の観光客の高齢者割合 60歳以上 32.8%
出典：奈良公園周辺の観光についてのアンケート調査結果 (H20.7 n=1,546)

《課題》 奈良公園をスムーズに周遊できる移動手段の確保が課題であり、さらに、高齢者にも優しい移動手段の確保が課題

7. 奈良公園全体の現状と課題

「移動・周遊環境」に関すること④

《現状》

- ・奈良公園は、東大寺や春日大社、国立博物館などと一体不可分で連続性があるとともに、若草山や春日山原始林を含め、エリアが非常に広いことから案内が行き届いていない。
- ・現在、迷うことなく移動できる環境を整えるため、統一した観光案内サインを整備。

■案内・誘導に関する自由意見

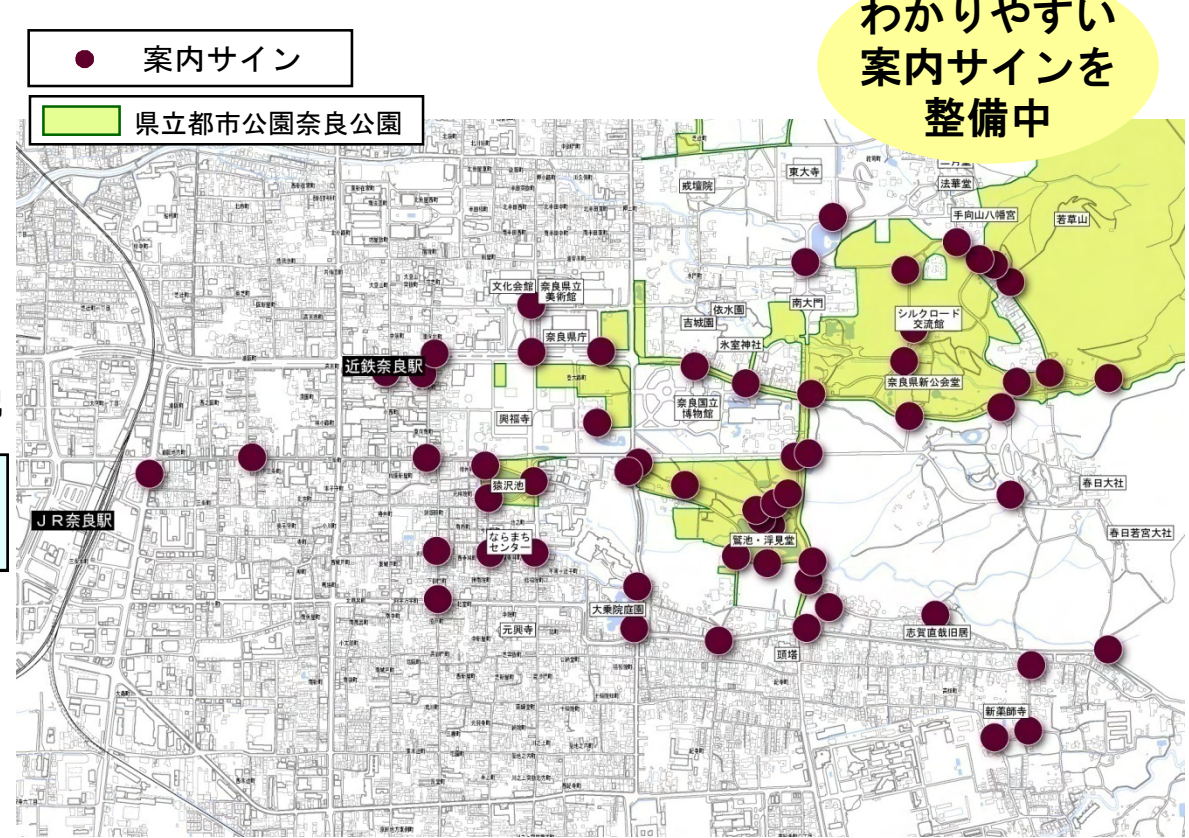
種類	意見内容	
全体的	<ul style="list-style-type: none"> ・街の全体が分かる地図等が少ない。 ・どこに何があるかわかりにくい。 	
もてなし対応	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客用の案内板等が少ない。 ・観光案内所がない。 	
個別施設	神社仏閣	・もっと東大寺等道順の図をハッキリしてほしい。
	史跡公園	<ul style="list-style-type: none"> ・案内表示が少ない。 ・道案内表示がもう少し分かりやすいと良い。
	美術館博物館	・場所の表示が必要。道に迷いました。

出典：「奈良観光の評価に関する調査」(2009年春期調査結果)

■分かりやすい案内サインに向けた取り組み状況



■案内サインの整備状況 (H21~H22)



出典：奈良県資料

《課題》

来訪者は社寺や国立博物館など奈良公園地区を垣根なく周遊するため、社寺等関係者との更なる連携が課題

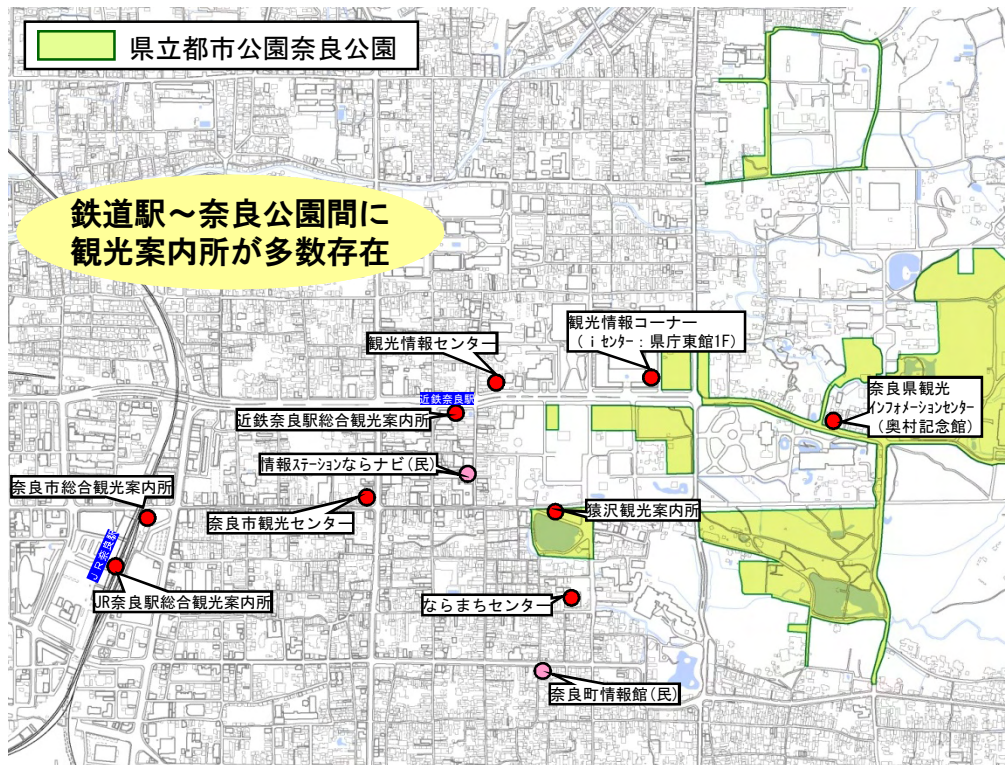
7. 奈良公園全体の現状と課題

「情報発信・提供」に関すること①

《現状》

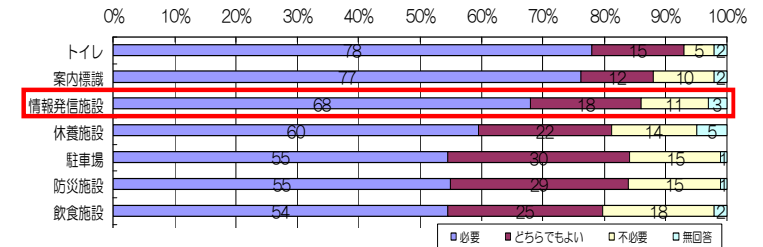
- ・ JR奈良駅から奈良公園にかけて多数の観光案内所が分布しているが、来訪者はさらなる情報発信を求めている。
- ・ 宿泊客の割合が最も高い関東地方における奈良県の観光情報提供状況は、「ネットの旅行情報サイト」や「TVなどのマスコミ」などにおいて不十分となっている。

■奈良公園周辺の主な観光案内所の分布



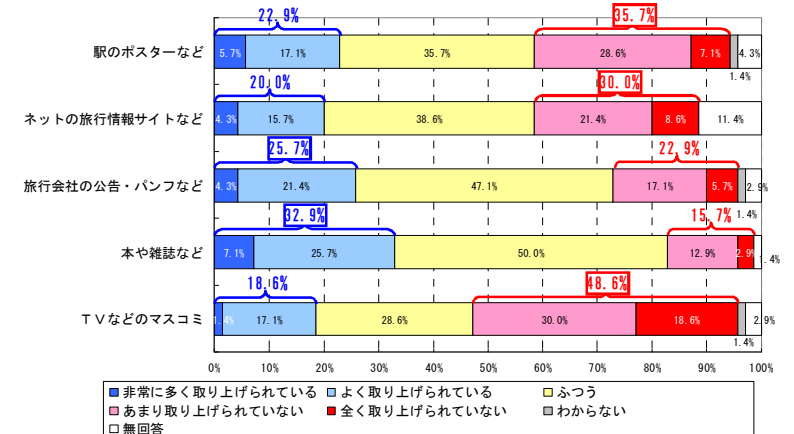
■奈良公園に関するアンケート調査結果

Q. 奈良公園にどのような施設が必要か？



出典：奈良公園の利用満足度に関するアンケート (H22)

Q. 各メディアでの奈良県の観光情報は？ (首都圏)



出典：観光都市奈良の宿泊客の実態調査報告書 ((社)中小企業診断協会奈良支部: H21)

《課題》

奈良公園地区全体の魅力を伝えるための情報発信や情報提供が課題

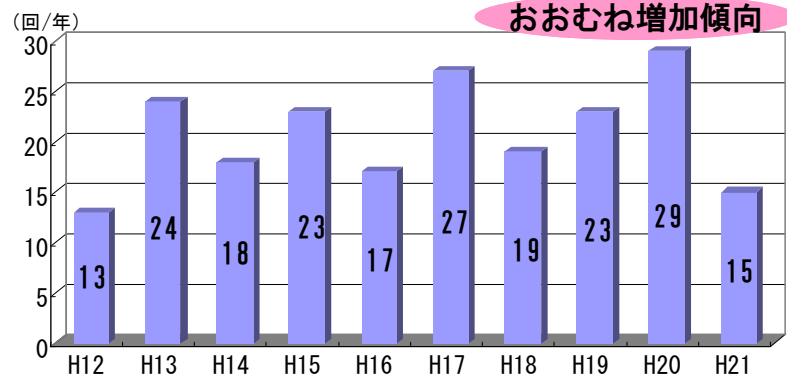
7. 奈良公園全体の現状と課題

「情報発信・提供」に関すること②

《現状》

- ・奈良市における国際コンベンションはおおむね増加傾向となっている。
- ・平城遷都1300年祭では、奈良公園内の新公会堂においても平城遷都1300年記念経済フォーラムやAPEC観光大臣会合をはじめとする様々なコンベンションが開催され、奈良からの情報発信に貢献しているが、新公会堂はコンベンションに必要な機能が必ずしも十分とはいえない状況となっている。

■奈良市における国際コンベンション開催件数の推移



出典：2009年国際会議統計（日本政府観光局（JNTO））

■平城遷都1300年祭時の新公会堂でのコンベンション

- 【東アジア未来会議 奈良2010】
- ・平城遷都1300年記念フォーラム
- ・APEC観光大臣会合
- ・世界宗教者（WCRP）平和会議40周年記念事業/世界宗教者まほろば大会
- ・第12回世界歴史都市会議
- …他多数



「ERIAリージョナルネットワークフォーラム」
ウェルカムパーティー（新公会堂庭園）H22.7.7

■新公会堂と同等規模のメインホールを持つ国際会議場との比較

諸室	新公会堂 （奈良市）	淡路夢舞台 国際会議場 （淡路市）	神戸国際 会議場 （神戸市）	北九州 国際会議場 （北九州市）
メインホール 収容人数	500人	600人	692人	585人
レセプション ホールの有無	○	○	○	× （対応可能施設 が近接）
イベントホール の有無	×	○	× （対応可能施設 が近接）	○
中規模会議室数 （100人以上）	2	3	7	3 （対応可能施設 が近接）
小規模会議室数 （100人以上）	4	14	5	4 （対応可能施設 が近接）

新公会堂は、展示室や多目的に活用できる
スペースや中小規模の会議室が不足気味

《課題》

既存ストックを活用した魅力あるコンベンション機能の充実・強化が課題

7. 奈良公園全体の現状と課題

奈良公園の現状と課題のとりまとめ

- ナンキンハゼ等の外来種の進入による春日山原始林の荒廃
- 「奈良のシカ」による交通事故の増加や農産物の被害
- 鷺池、大仏池など景観を構成する池の土砂堆積・水質悪化
- 吉城園主棟、旧世尊院など県有建築物の老朽化・低未利用
- 浮見堂、五十二段など公園施設の老朽化
- 奈良公園周辺における樹木の生長による眺望の阻害
- 伝統的行催事の維持・継承
- 観光オフシーズンにおける来訪者の減少
- 若草山の入山者数の減少
- 宿泊施設数や宿泊稼働率の低迷
- 公園内の空き店舗の増加など来訪者へのサービスの低下
- 県庁舎など観光交流拠点における魅力不足
- 鹿苑の老朽化
- 古都買入地の低未利用
- 新公会堂の不十分なコンベンション機能
- トイレ、ベンチ等の不足、老朽化による周遊環境の不備
- 自動車と歩行者の動線の交錯
- 照明の不足による危険な夜間利用
- 移動手段の不足による高齢者等の移動困難
- 観光バスなどによる交通渋滞
- 情報発信・情報提供の不足
- 統一した観光案内サインの不足

- 奈良公園は既に立派な公園であり、立派な資源が存在しているにも関わらず、その資源の価値の「維持」や、「利活用」が、不十分である。
- 具体的には、自然資源では特別天然記念物「春日山原始林」の荒廃、歴史・文化資源では伝統的行催事の維持、公園資源では鹿苑の老朽化など様々な課題があり、このままでは立派な資源の価値が失われていくことが危惧される状況である。

8. 「奈良公園基本戦略」の基本方針

「奈良公園基本戦略」の基本方針

目的

奈良公園に存在する資源を積極的に「維持」「利活用」し、奈良公園の抱える課題を解決することにより、奈良公園を名実とも「世界に誇れる公園」にしていくことを目指して、考え方を整理するものである。

基本方針

県がトータルマネジメントを行い、奈良公園の魅力を積極的に維持し、更なる魅力の向上や魅力の創出に努める。

基本方針の実現に向けた

3つの柱

維持

① 魅力を守る

利活用

② 魅力を活かす

取組体制

③ 県が主体的に取り組む

○ 対象エリア

奈良公園周辺一帯（右図参照）

（JR奈良駅から東側で、南は高畑町と奈良町を含み、北側は東大寺転轄門（正倉院西側）付近まで）



8. 「奈良公園基本戦略」の基本方針

「奈良公園基本戦略」の目標

◆ 維持

- ・ 春日山原始林の植生の適切な管理
- ・ 「奈良のシカ」の適切な保護育成と管理
- ・ 伝統的行催事の維持・継承
- ・ 吉城園主棟など県有建築物や公園施設の適切な維持管理

◆ 利活用

- ・ 来訪者数の底上げおよび観光オフシーズンの解消
- ・ 伸び悩んでいる宿泊客数の底上げや既存の宿泊施設の稼働率向上、更なる宿泊施設数の充実
- ・ 観光地としての来訪者への「サービス」の向上
- ・ 低未利用地や県有施設などの有効活用と適切な維持管理
- ・ 既存ストックを活用した魅力あるコンベンション機能の充実・強化
- ・ 安全安心な移動周遊環境の整備
- ・ 奈良公園全体の魅力を伝えるための情報発信・提供

◆ 取組体制

- ・ 奈良公園を垣根なく周遊するための社寺等関係者との更なる連携強化

8. 「奈良公園基本戦略」の基本方針

基本方針の実現に向けた施策・事業

◆ 維持

◇ 自然資源の保存

- 春日山原始林の再生、奈良のシカの適切な保護・育成
- 奈良公園の植栽計画の策定

◇ 歴史・文化資源の保存

- 若草山焼きの実施、奈良公園の行催事への支援

◇ 公園資源の保存

- 吉城園主棟の改修、公園施設等の適切な維持管理
- 植生植栽の適切な維持管理
- 古都法に基づく土地の買入れ
- 文化財保護法、古都法等に基づく許認可申請

◆ 利活用

◇ 移動の円滑化

- 歩道整備、管理事務所移転
- 周遊バスの導入、若草山など移動支援機能の導入
- 登大路Tの整備、大仏前P予約システムの導入、行基広場屋根整備
- 案内サイン整備
- パークアンドバスライドの実施、公園道の一方通行化
- 公共交通機関利用促進

◇ にぎわいづくり

- 吉城園周辺地区の整備
- 飛火野周辺地区の整備
- 高畑町周辺地区の整備
- 奈良公園のあかりを用いた誘客イベント
- 若草山にぎわいイベント、奈良らしい誘客イベント(ドイツ音楽祭など)
- イベント支援施設の整備

◇ コンベンションによる振興

- 新公会堂周辺地区の整備

◇ 施設的环境整備

- トイレの整備
- 照明施設の整備
- 県庁舎等の観光拠点整備

◇ 来訪者の満足度の向上

- 社寺と連携した滞在型観光商品の企画・造成
- 鹿サポーターズクラブ等と連携した鹿のお土産企画
- 飲食・物販施設の使用許可の見直し

◇ 情報発信と享受

- 修学旅行生の誘致、奈良公園の解説の充実
- 情報発信・共有システム構築、県外キャンペーン

◆ 取組体制

◇ 関係者の総力の結集

- 社寺等との連携
- 民間・NPO、関係行政機関との連携

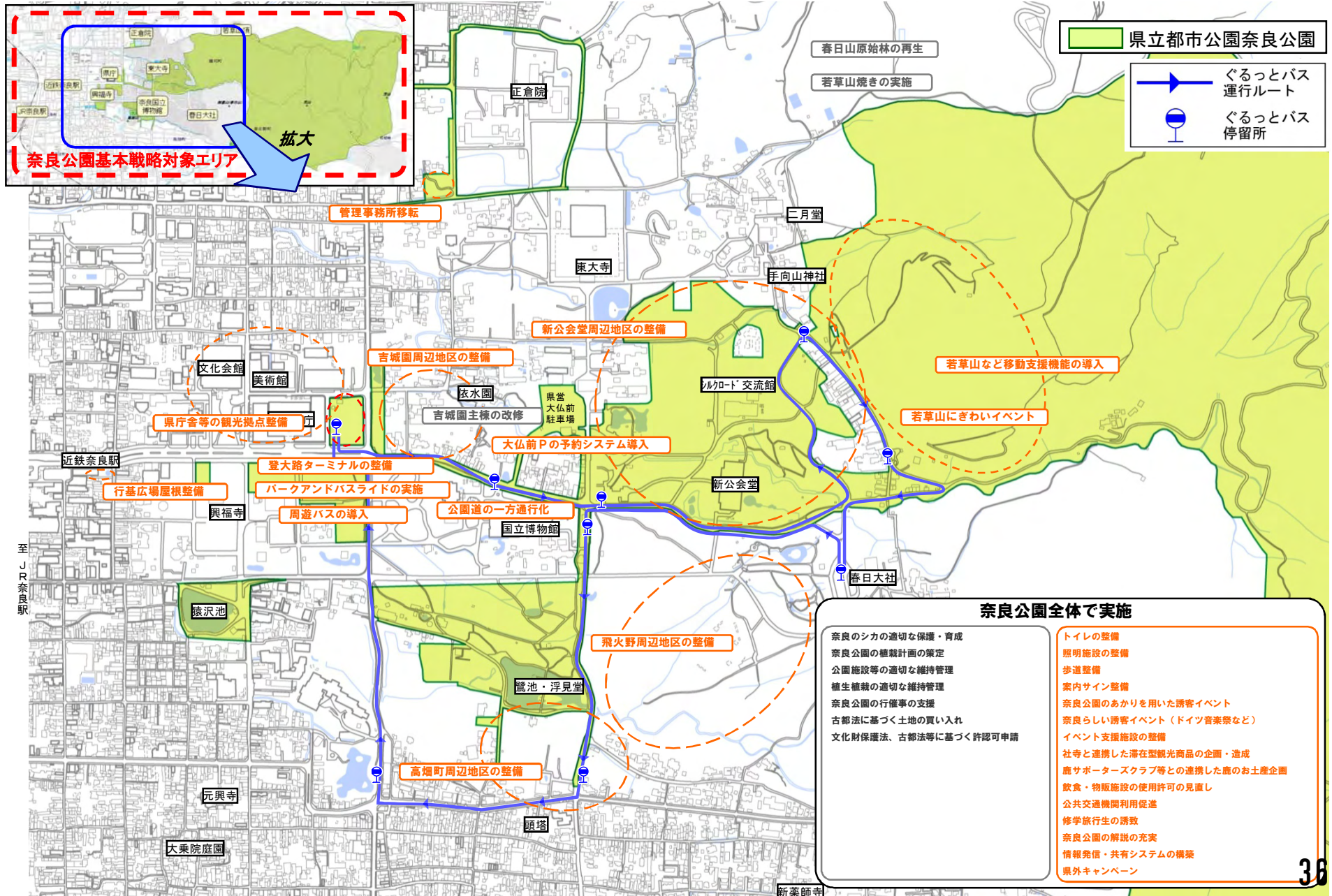


◇ 施策の推進

- 県民や来訪者等への意見聴取
- PDCAサイクルの確実な実施

8. 「奈良公園基本戦略」の基本方針

施策・事業を実施する箇所（位置図）



8. 「奈良公園基本戦略」の基本方針

奈良公園の施策・事業の体系図

